

**ITC**  
**JAPAN REGION**

**Vol. 23**  
January / 2005

No. **2**

# ITC Pledge

## ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々、インターナショナルトレーニングインコミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

Vol. 23, No.2, January 2005

## 目次 Table of Contents

ITC 宣誓	ITC Pledge	表背表紙
日本リージョン会長新春メッセージ	New Year Message from Japan Region President	1
ITC 国際役員副会長ディビジョンIVメッセージ	Message from ITC Vice President, Division IV	2
日本リージョン役員メッセージ	Message from Japan Region Officers	4
日本リージョン常任委員会メッセージ	Message from Japan Region Standing Committees	5
特集「社会への発信」活動報告	Features on Leadership in Action : "Communication with Society"	6
組織運営研究委員長メッセージ	Message from Study of Organization Management Committee Chair	10
ITC 日本リージョン声明文	Mission Statement of Japan Region	10
教育研究委員長メッセージ	Message from Educational Research Committee	11
第23回日本リージョン年次大会ご案内	Invitation to the 23rd Japan Region Annual Conference	12
大会準備委員長挨拶	Message from Conference Coordinator	12
大会プログラム予定表	Annual Conference Program Plan	13
プログラムのご案内	Guide to Programs	14
特別プログラム講師紹介	Introduction of Lecturer of Special Program	14
教育セッション講師・リーダー紹介	Introduction of Lecturers of Training Sessions	15
教育セッション一覧表	Training Sessions	16
教育セッション一覧表〈英文〉	Training Sessions	17
観光のご案内	Tours and Sightseeing in Otsu	18
大会準備委員会名簿	Annual Conference Committee	19
大会申込要項	Guide for Registration	20
登録、教育セッション、観光、食事および宿泊申込書	Registration & Reservation Forms	21
ただいま、発信中!	Now on Communicate	23
会員変更届(名簿の訂正)	Roster Updates	24
訂正	Correction	25
次号予告	Announcement of the next number	26
編集後記	Message from the Editor	裏背表紙

## 会長新春メッセージ



日本リージョン会長 早川住江

21世紀5年目の幕開けです！

メンバーの皆様には、公私共に希望に満ちた新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

2004年、天災・人災、実にたくさんの災害が起きました。一瞬にして日常生活が一変してしまった被災者、被害者のことを思い、ずいぶん胸を痛めたことでした。そして被災地の現状を見聞きするにつけ、ここでもコミュニケーションの大切さ、必要性を実感させられました。いつでも、どこでも、助けやケアを必要としている人に、コミュニケーションの訓練を活かすことが出来れば、どんなに素晴らしいことでしょう。

今期も5ヶ月が過ぎまして、リージョンテーマ『社会への発信』に則って、リージョン委員会、カウンスル、クラブで活発に取り組んでいただいています事を、ITCの大きな発展と喜んでおります。教育研究委員会では大学での講座を2回、カウンスルNo.3では中学校・高校での講義、カウンスルNo.1の愛知万博への参加、又、広報委員会では地域のスピーチコンテストに参加などなど、社会への発信がたくさん実現しております。

リージョン大会のテーマも、ITCの社会参加を意識して、『空・水・土』と致します。即ち地球を取り巻く環境問題をテーマにしたいと思います。大会の開催地は琵琶湖の湖岸、美しい景観と共に環境問題に関しては常に指導的な土地柄です。大会プログラムも充実感のある内容に、とプログラム委員会・大会準備委員会をはじめ多くの協力を得て準備が進められております。

今年も会員の皆さま方の自覚とご協力を以って、ITCがよりよい方向に飛躍しますことを願っております。よろしくお願い申し上げます。

## New Year Message

Japan Region President Sumie Hayakawa

The fifth year of the 21st Century started.

I hope all the members can look forward to a good year ahead.

Many natural calamities and man-made disasters occurred in 2004. We feel very sorry for all the victims. Their daily lives changed drastically in an instant. Considering their situations, we feel strongly the importance of communication. If we can make the best use of ITC training for those who need help and care at this moment, how wonderful it would be!

5 months have passed since this term started. I am very glad to hear that all the committees in Japan Region, councils and clubs are working actively by following the annual theme "Communication with Society." In fact, the Study of Education Committee held two lectures in universities, Council No.3 held some lectures both in junior high schools and senior high schools. Council No.1 takes part in the World Expo in Aichi. And the Public Relations committee took part in a local speech contest. We realize the theme one by one.

The theme of Japan Region Conference is decided as "Air, Water and Earth". We have to be conscious of ITC participation in the society and the environment on Earth. The site of the Conference is Otsu, by the shore of Lake Biwa with its beautiful scenery.

Because of its location, Shiga Prefecture has taken a lead in tackling environmental problems in Japan. The Program Committee and the Preparation Committee are preparing enriched programs with the cooperation of Council No 6.

In the end, I hope Japan Region will make a great stride with the members' cooperation this year.

## 国際役員副会長イギリスからのメッセージ

国際役員副会長 ディビジョンⅣ 泉 和子

### “イギリスの古都、Chobham での国際役員会に出席して”

国際は、2年を通して何度も世界の各地に集まって出席役員会を開催することは費用の節減につながらないとして、先の1年間はITを使用したNet Meetingで間に合わせていましたが、この度、ロンドンでの国際会長主催のTraining Weekend Workshopの開催に合わせて、その5日前から今期2度目の出席国際役員会議が開催されることになり、この2種の行事に出席のため、私はイギリスに2004年10月23日から11月4日までの10日間滞在しました。

役員会会場は、ウイルナ・ウイルキンソン国際会長のご自宅でした。イギリスでの家庭生活を垣間見たことも無い私は、6名もの役員が宿泊出来るような会長のご自宅がどうしても想像できず、本当に会長のお宅に泊まるのかしら？と不安を抱えて日本を出発しました。イギリスの古い、雰囲気の良いChobhamという町にある会長のご自宅は、覚えきれないほど部屋数の多い、イギリスの昔の伝統的な邸宅でした。時差の加減で、夜中に目がさめても、どこがどうなっているのか訳も解らず空が白々と明けるのを待ちかねて、そっと自分の部屋からキッチンに降りてゆくと、「えっ！ここは牧場？！」と思うほど広大な緑を敷き詰めた庭園が広がっていました。



時差ぼけなどという言い訳は通じる訳も無く、到着したあくる日の朝9時から、容赦無く始まったのは、今期に教育資料として作成された「Power Talk」の製作者、Lorna Sheldonのワークショップでした。国際役員特別のワークショップだというからには、どれほど難しいものであろうと戦々恐々としておりましたが、英語に対してNon-Nativeの私には易しい英語で書かれた研修資料が用意されていたことに、Lornaの暖かいリーダーシップを感じました。この国際役員向け研修はビデオやコンピュータを駆使して、さすがにワークショップを受けたという実感がある程、中身の濃いものでした。その後4日間、寸分すきも無い役員会の間中、何度となく口頭と書面で出席者全員から各役員になされた「評価」を受け入れるには、相当な精神力が必要でした。そして、やはり国際の扉はとても重厚なものだと感じました。



Cyber会議では出来ない、Face Meetingならではの重要事項を役員全員で協議した時、これほど大切な事柄に、私如き者がこの意見を出し、この決定を下すことに参画しても良いのだろうかとか審議に参加することに恐怖感を持ったことは、長年ITCに在籍して初めての経験でした。それほど大切なことがこの会議上で協議され、決定されていったのです。約4000名の会員の、あたかも生命を預かったような、大切としか言いようが無い場に身を置いたような気がして、国際役員会になにか畏敬の念を抱いた感覚をもって4日間を過ごしました。

## “ロンドンでの貴重な経験 Training Weekend と世界各国のメンバーとの交流”

役員会最終日の金曜日は午前中で会議を終えて、何をどこへどう入れたか分からないほど急いで荷物を詰め込んで、Training Weekend に出席の為、皆でロンドンの中心部のホテルに拠点を移しました。到着して休むまもなくバンケットが始まり、トランクから夜の洋服を出すのに難儀したという、本当にあわただしい一日でした。

例年の世界大会では、私はワークショップをサボるのが常でしたが、今回は役職上そうはゆかず、全てのセッションに出席しました。しかし、いつもの世界大会で感じる、解らない英語を聞くという、あの煩わしさを感じることなく、今回は実践を伴うワークショップにさえ参加出来たのはどうしてなのかと考えました。話はその直前の役員会にさかのぼりますが、役員会の席で聞く英語は、日頃の巷の英語の3倍も5倍も早いものだったのです。事務所長の Judi などは私の隣の席で超スピードで話していました。私がたまりかねて「貴方の英語は、小鳥のさえずりのように早いわね」と言って「I'm sorry!」という答えを期待しました。ところが返答は「Thank you!」・・・あっけにとられた私は「貴方は小鳥のようね」と英語を使い間違い、しかも相手が私の英語を「小鳥のように可愛いわね!」と勘違いした結果「Thank you」と相成ったことが解りました。このように、hummingbird のような超スピードの英語を耳にした後のロンドンでのワークショップの英語が、私にとって、役員会の英語に比べて、俄然聞きやすかったのだと思います。2日間のワークショップをとっても解りやすく聞けたのは、この小鳥のさえずりのおかげです。



私に与えられたアサイメントは、最後のバンケットで「Testimonial」のスピーチをすることでした。私が取り上げたのは、日本リージョンが前期実行した「白鳳大学での I T C 学講義の成功」という内容で、I T C を社会に広めた成功例として話しました。つたない私の英語のスピーチでも、日本リージョンと国際の、ほんの小さなコミュニケーションの掛け橋になればと懸命に務めた、私のこのスピーチを聞いて下さった方々は、日本リージョンが社会へ I T C を発信し始めた良い参考例だと評価して下さいました。

Training Weekend では数々の出会いがあり、多くの会員と交流を深めたことも私の役得でした。隣席になった元国際会長、Therma Maclelland さんが「良く頑張るわね」と Non-Native の私を励まして下さったお言葉は、私の一生の宝物だと感激しました。「アメリカから来たのよ」とおっしゃった93歳の会員は、今度は「ボルチモアであいましょう」と固く手を握って下さいました。これらの会員との出会いは、私の生涯の心の糧として大切にしたいと思っています。

今回のイギリスでの経験は、スピーディな英語もさることながら、何をとっても「経験とは不可能を可能にするもの」と言うことを実感させてくれました。そして、これからの日本の会員が、このような大きな場でもっと多くの経験を積んで欲しいものだと、日本リージョンの未来に思いを馳せました。

次回の出席役員会は2005年3月ニューヨークのマンハッタンで開催されます。いよいよウイルナ会長の夢を見ましょう! の、I T C を国連へ! という夢が、ほんの少しでも正夢になってくれればと願い、次の国際役員会が待ち遠しいと、偉そうなことを考えている私です。

# 役員メッセージ

## 第23期 第一回カウンスル運営研修会報告

リージョン第一副会長 中野知子

2004年11月1日（月）11日（木）の2回に分けて12部門、94名出席にて開催されました。

京都タワーホテルにおいて（11部門の研修）早川会長は「カウンスル運営研修会を始め、ITCで養われたリーダーシップが何らかの形で社会へ向けて発信できることを望む」と挨拶し、熱のこもった研修が部門毎に繰り広げられました。実務に入って3ヶ月、遠い所を貴重な時間を割いて集まることに対しては、フェイスミーティングの有効性を唱える出席者が多く、縦横に繋がっている組織運営の楽しさを見つけ、情報交換から受ける刺激に各テーブル時間を忘れるほど活発でした。

### 各部門では

会長	カウンスルによる違いを知り、他カウンスルの合理性を学び共通の疑問点などに意見交換が充分出来た。ITを上手に利用していくことの必要性が話合われた。
第一副会長	カウンスルに於いて社会への発信に繋がるプログラムが積極的に、社会問題も柔軟に取り上げられていることに感銘し、お互い学びあった。
第二副会長	リーフレット作成について、プレム活動について会員増強のヒントになる意見を交換した。
書記	表記の仕事内容やゲストなどの登録、仕事区分はカウンスルにより見解が異なる。
会計	種々の手続きについて確認し合い、郵便振替口座の利用など便利な方法も紹介。会計の仕事の範囲についての疑問が出た。
議会法規	メールにより煮詰められた多岐に亘る質疑に回答がなされ、派遣員ブリーフィングの手順などと実際の議事運営法も研修された。
編集	リージョンとカウンスル、カウンスル間の情報交換を密にし、有効な活動の刺激とする。
資格認証	認証の取得は任意参加ではあるが、会員のために委員会の積極的な活動が不可欠である。
会計監査	質問を受けながらの進行であったが、会計や会則・決議委員長にその場で確認しながら進めることができ、よく理解し合えた。
会則・決議	「指名委員候補者を各クラブより1名以上出す」という修正案ののせ方について、まず常規に載せその後、会則に移す方法を薦めた。
広報	「社会への発信」は各カウンスルかなり力を入れいろんな方法で実行されている。
スピーチコンテスト	改正された「規則と任務」に沿って質問を受けながら研修が行なわれた。質問が多かったが各クラブへ確かに伝達されるよう確実にいった。

### 評価用紙から

研修会までに情報交換の手段を上手に使うことにより、さらに有効な研修会が期待されるという意見が多くみられました。食事の必要性や会場の場所、日付などについては概ね賛成でありましたが、より細かい配慮が必要であり、各リーダーの丁寧で真摯な準備がこの研修会の大きな支えであったことが多くの評価に述べられ、充分な評価が得られていることは特筆されるべきものでした。（回収率90%）

### 事務局だより

リージョン事務局長 柳川公子

〔資料・物品目録についてのお知らせ〕

追加されるもの：	B10	スピーチコンテストの規則と任務	250円
	C39	スピーチコンテスト必要書類一式	200円

**D21 ストラップ付名札 800円**

削除されるもの：322ベルベットリボン付き名札在庫ゼロで今後作成予定なし  
(国際の製品) 401ボウピン金402ボウピン銀ともに在庫ゼロで今後作成予定なし

★ 会員ピンは目下作成準備中です。しばらくお待ちください。

〔事務局への質問から〕

「国際のホームページを見るのに会員番号が必要なのですが・・・」

期末にAnnual Statement と一緒にクラブに送付されている会員データに各人の会員番号が記されています。クラブ会計にお尋ね下さい。今期新入会員の場合は会員カードに記載されています。どうしてもわからない方は事務局へお問合わせください。



## 常任委員会メッセージ

### 増設委員会

委員長 永井眞澄

I T Cが新しい社会で受け入れられたら素晴らしいことです。それも今話題の仙台に、です！マスコミを賑わせ、地元の野球ファンに夢を与えたあの球団が旗揚げする仙台です。伝統豊かな、文化都市でありながら、今仙台は元気いっぱいです。

早川会長は先見の明によって、就任後、仙台あたりにクラブ増設を希望されました。タイミング申し分ないこの時期に、ぜひ、I T Cのクラブ増設にご協力ください。そのために中心になっていただく方が必要です。カウンスルから、クラブから個人的にでも、ご紹介ください。

クラブ増設活動はI T Cで一つ一つ積みあげてきました訓練の成果を大いに発揮できる時なのです。皆様の情報提供と、ご紹介にご協力をお待ちしております。

### 国際交流委員会

委員長 今井京子

隔年開催初めての世界大会が近づいてきました。今回の世界大会は皆様ご承知のとおり、2005年7月23日～27日アメリカ・メリーランド州ボルティモア・マリOTTホテルにおいて“ITC - A World Within a World”のテーマの下に開かれます。秋にロンドンで行われた国際会長のトレーニング・ウイークエンドで最新のパンフレットが配布されました。

それによりますと、ボルティモアは近くに首都ワシントンがあり、歴史に満ちた楽しい都市で、“ぜひ、ご家族連れでゆっくりと滞在を”とお勧めしています。ちょうど夏休み頃ですね。

今期はI T Cの変革にリーダーシップを発揮される国際会長、日本リージョンから泉和子国際役員副会長がご活躍です。日本からのアクセスも簡単、皆様のご参加をお勧めいたします。当委員会はサポートを惜しみません。

### スピーチコンテスト委員会

委員長 近本節子

「スピーチコンテスト規則と任務」(2004.8.1.～2007.7.31有効.)が大きく変更されました。皆様もう確認されましたか。カウンスル、クラブ運営研修会が開催されました。新しい規則に添いコンテストに向け十分な準備を進めてください。「スピーチコンテスト」の質問が届いています。

Q. 同じクラブ内の会員が審査員になってもよいか。

A. 不可。クラブ外から三名の審査員が必要。

Q. 審査員代理を用意せず、当日欠員が生じた場合、評価者に審査員を依頼してよいか。

A. 良い。その場合、評価者に事前に了解を得ておく。

Q. 重複会員が所属する日本語と英語の両方のコンテストに出場してよいか。

A. クラブレベルでは可。次のレベルではどちらか一方に出場する。

Q. クラブと同じスピーチを次のレベルで行なった時の内容修正はよいか。

A. 良い。

Q. クラブと同じスピーチを次のレベルで行なった時論題や題目を変えても良いか。

A. 良い。

Q. スピーカーの順番は変更できるのか。

A. 不可。くじ引き後、出場者間の話合いで順番を変更することはできない。

\* リージョンスピーチコンテスト委員長へ寄せられた質問の抜粋から

## 特集 ITC社会への発信 活動報告 2004-05

### 滋賀県公的機関と同じ舞台上で後援を

リージョン広報委員長 松本喜久子

23期が始動して早や半ば近く、リージョン広報委員会はカウンスルや各クラブで活発な広報活動を展開されていることに、会員の皆さまの熱意と実行力に力強さと喜びを感じております。

「愛・地球博」を支援しITCのマークの入ったバナーを万博ホームページに掲載、「ひょうご女性未来会議 in 神戸」に参画、「子供スピーチコンテスト」開催と、リージョンテーマ「社会への発信」の多彩な活動となっております。

今、リージョン広報委員会は、2005年2月13日滋賀県で開催「外国人による日本語スピーチ大会」にITC会員が審査員として参加、ITC日本リージョン賞（仮称）として賞状をさし上げ、そこでITCを紹介する機会とし取り組みを行っております。主催者のびわこ日本語ネットワーク（BNN）代表 金綱蓉子様が社会へのかけ橋となってくださいました。後援は、滋賀県・県教育委員会・県国際交流推進協議会・野洲市・市青年会議所・市教育委員会・市国際交流協会・びわ湖放送・ITC日本リージョン等。6月琵琶湖大津市で行われるリージョン大会に先がけて滋賀県下の公的機関と同じ舞台上で後援をし、広報活動ができるということは、県にスムーズに認知を得ていただき、実り多い大会となるという期待をいたしております。年次大会成功に向かって広報委員会も益々がんばってまいります。

### 白鳳短期大学における授業を継続して

リージョン教育研究委員会 稲次 美子

昨年に引き続き、白鳳女子短期大学国際人間学科の坂上助教授より、1年生に対する80分授業を2回実施してほしいとの依頼を9月末に受け、特別委員会で検討後、昨年のメンバーの3名、新参加メンバー1名、委員5名、計9名で、プログラムを計画いたしました。

特に注意する点は、80分間（これは、ITCのクラブでのプログラムの2ヶ月分に当たる）の講義に、まじめに耳を傾けてくれるか、次週の第2回の授業との関連性等、活発な意見が5時間にも及びました。

更に、対象となる学生は異なるが、昨年とは違う授業内容にしたいという会員の前向きな姿勢に、大いに刺激を受けた。その他種々の打ち合わせ、諸準備を整え第1回目を12月14日に開講しました。

導入は、コミュニケーションの大切さを講義形式で解説し、その後、短時間で、人々をひきつけるラジオ、テレビなどのコマーシャルメッセージの作成について、撮影現場の裏話などを交えながら説明した後、事例として「本日新発売の商品」を想定しての会員自作のコマーシャルメッセージ（15秒・30秒の2種類）を発表しました。

次に自己紹介スピーチの作成について講義し、会員が15秒、30秒、1分とわかりやすいデモンストレーションを行いました。学生たちは、熱心にメモをとり、来週、自分たちの発表の参考にしていました。



最後は、街頭インタビューの形式で座席を回りながら、テーマに賛成、反対かを尋ねその理由も必ず話すということの練習後、プロ・コンについての説明をしました。

次週の宿題を見据えて会員が「女性専用車両は必要」のテーマで、プロ・コンのデモンストレーションを行いました。12月21日の講義は、学生の発表を中心に行う予定です。

淡路クラブスピーチコンテストのジャッジとして来られた柳学園の先生の依頼から始まりました。カウンスルNo.3 PREM委員会は、淡路クラブと共に、柳学園高等部ならびに中学部で、10月4日・5日の両日、各3学年合同で150名の生徒にコミュニケーションの授業を行いました。

心配したことは、中学生・高校生が「おとなしく聞いてくれるのだろうか？」という事でした。その為に「一方的な講義方式ではなく生徒が参加できる授業にする」ことを基本に計画を立てました。授業内容は高等部中学部の大切さについてメンバーが3本立て（ワンワード・一分間）については先生方のアドバイスをうテーマを準備しました。まず行い、つづいて生徒がすると言



とも同じで、「コミュニケーション5分間スピーチを行い、その後実践スピーチ・PRO&CON）とテーマを受け、高校生向き・中学生向きに違メンバーがデモンストレーションを行う方法で行いました。

一分間スピーチでは、高校生は「感動したこと」中学生は「好きなもの」のテーマで、初めて大勢の前で発言して「足が震えています」と言いながら話し終えて「難しかった」「次はもっと上手にしたい」など様々な感想を聞かせてくれました。一日目（高校）終了後反省会を開いて改善策をたて、（声が聞取れなかった為か、ざわざわしたのでリーダーがマイクで復唱する。生徒たちの間にメンバーが座る。デモンストレーションを丁寧に行う）など二日目に実践したところ、すばらしく改善され校長先生が最後の反省会の時、そのことをとてもほめて下さったことが印象に残りました。授業一日目は担当者・協力合わせて25名、そして二日目は20名のITCメンバーが参加しました。

授業後、高校生・中学生がアンケートの中で来て欲しい「コミュニケーションの大切さがいつもの授業よりずっとおもしろかった」等読んで、我々ITCメンバーも貴重な経験ができたような満足感に浸り、なによりもITCで初めて誇りを感じました。生徒が「今日こんな授人に伝え、淡路クラブにゲストとして来られたと聞きました。今回の授業はITC日本リージョン今期会長のテーマ「社会への発信」に、なったのではないかと考えております。



「ITCの人にまた初めてわかった」と書いてくれたのをきた喜びと何か報わ学んでいることに改業があった」と家の

## 市団体「国際交流会協会の委員会」の研修を

サンデークラブ 小菅あけみ

私が事務局長として勤める柏市国際交流協会（ボランティア団体）では、委員会活動がより効果的に行われるよう研修にと、今期4名の講師をITCから派遣してもらうことにしました。

[9月会計報告の仕方・10月報告書の書き方・11月会議の進め方・12月効果的な報告の仕方]

各講師には事前に交流協会を訪れ、協会の委員の現状を把握してから、ITCのマニュアルに沿って、プログラムを作成してもらいました。今後は、協会の若い学生クラブの会員に向けてITCによる楽しい研修会が計画できたらと、夢を膨らませています。

3年前、柏市の教育委員として社会との接点を持つことになり、今年10月には、教育委員長として選任されました。任期は1年ですが、委員会の議事進行を任されているので、ITCでの体験学習が大変役に立っています。女性がまだ単数の教育委員会の中で、会全体のコミュニケーションをパワーアップする工夫を試みています。また、今問題となっている『子供とメディア・パソコンの関係』を、今期のカウンスルで勉強しましたが、ITC内で終わらずに、何かのきっかけを作り、教育現場への提言に結びつけることができたらと考えています。

## 九州クラブ「小学校のディベート交流会」を主催

九州クラブ 大野加津子

九州クラブは今年28歳～。広報委員会、会員委員会と連携をとりながら、I T Cの存在、知名度を高めるために様々な取り組みを行ってまいりました。

広報委員会スローガン「広めよう地域社会にI T C」とし、外に向け2つの大きな計画を立てました。①小学校とのディベート交流会2004.11.15 ②A P U (アジア立命館大学)スピーチ交流会.開催.予定。地元私立小学校とのディベート交流会の開催の準備は、指導実行のため学校と打ち合わせ会を第1回、第2回と丁寧に行い、第3回には先生と会員による模擬ディベートをリハーサルも兼ね行いました。

実行日9月15日を迎えました。学校では校長先生、父兄、生徒、I T C会員、テレビ局、新聞社が参加し、論題は「昼食はお弁当が良い」。1テーブル毎8人でリンクマップを使いながらワイワイガヤガヤ、I T Cメンバーも加わりそれぞれテーブルごとに指導し、代表者が議論を戦わせ、その成果は手ごたえあり。生徒達も「ディベートを身近に感じた」との発言に、会員は大満足をいたしました。テレビ局O A B (朝日系列)、地方有力紙などの取材を受け、熱気あふれる生徒の様子、I T C会員のおば様達そして生徒御家族との交流風景がその日のうちにテレビ画面に映し出され、来年もぜひひとの要請を受けたいへん好評だったことはいまでもありません。



九州クラブでは会員全員で社会への接点をもちながら社会貢献を目指し、I T Cの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。年間計画のもう一つのイベント国際交流のスピーチコンテスト実行に向け、さあ、始動開始です。

## 「尾道市小学生スピーチコンテスト」を主催

尾道クラブ 杉原悠紀子

今、子供達の健全育成の一翼に地域の力が大きく求められております。私達は今期I T Cの目指す「社会への発信」と合わせて鑑み、子供達が言葉を大切にし自分の考えをはっきりと述べ表現する「スピーチ」に着目し、コミュニケーション技術向上の一助になることを期待し実施に踏みきました。

9月2日、市内小学校校長会議の席で時間を頂き、I T Cの紹介や実施要項の説明等をさせて頂きご協力を仰ぎました。11月27日、学校当局、教育委員会、関係者各位の皆様方の深いご理解とご尽力のおかげをもちまして、しまなみ交流館大会議室におきましてI T C尾道クラブ主催・尾道市教育委員会後援による「尾道市小学生スピーチコンテスト」開催の運びとなりました。

市内5校より8名の小学生(6年生場者の選考は全て校長会に委ねました。に送付し、題目を付けてクラブに提出、くし後は規則通りに行いました。審査ジョンスピーチコンテスト委員長にお願



7名・5年生が1名)が挑戦、出1名につき3つの論題を3週間前スピーチは3分以上5分以内と短員には尾道大学、教育委員会、リーいし素晴らしい講評を頂きました。

そして、私達の予想を遥かに越えた子供達の素晴らしいスピーチには、ただただ脱帽でした。小学生がこんなにも観察力が鋭く、言葉もしっかりしていて、表現力豊かなのには感心致しました。論題、題目は「友情・感謝でいっぱい(副題)～子供会リレーを通して～」 「家族・宝物(副題)～私を育ててくれた家族の笑顔～」などです。スピーチが始まると子供達の無邪気さに笑いが出たり、感動で胸が震え涙、涙の場面もありました。子供達が今回の体験を通して、今まで気づかなかった新しい自分を発見するチャンスに繋がってくれますことを願っています。

私達も子供達の地域応援団として次回に繋がっていかれますよう自助努力を重ねステップアップしていかなければと思います。カウンスル会合でお聞きしました「経験は不可能を可能にする」を座右の銘として・・・。

## 「ひょうご女性未来会議」神戸市で開催を企画

舞子クラブ 大島 麗子

「ひょうご女性未来会議」は様々な分野で活躍する兵庫の女性たちが一堂に会し、ネットワークを広げ、エンパワーメントしながら、新しいライフスタイルの実現をめざし、平成14年10月に設立されました。現在会員数は約600名。会議から出た様々な意見を県政に反映させるために提言いたします。今期、日本リージョンのテーマは「社会への発信」となっていますので、それに添った大変良いチャンスだと捉えて、I T Cのメンバーが企画委員（I T C会員7名）となり「ひょうご女性未来会議 in 神戸第7回例会」を企画いたしました。I T Cのコミュニケーション技術と運営方法が兵庫県側との協議や一般社会に通用できるように努めているところです。



未曾有の阪神・淡路大震災から10年、今後、いつ、どこで何が起こるか予想もつきません。防災対策など女性の担う役割がなんであるかを会場で皆様と考えてみたいと思います。「蘇った神戸！これからの私たちの役割は・・・」というテーマでパネルディスカッションを行います。応援団長として知事をはじめ多くの方々が会議に参加されます。震災後10年を機に皆様もご提言を。

## 「愛知万博」市民プロジェクトを立ち上げて

名城クラブ 稲葉由利子

日本国際博覧会（愛知万博）は、2005年3月26日より185日間、125カ国の参加のもと、「自然の叡智」をテーマに開催されます。愛知万博の際立った特徴は、市民が企画し参加するプロジェクトが200近くあることです。その市民プロジェクトのひとつ「地球子ども会議2005」に葛谷美紀子（名城クラブ）・森川佐智子（刈谷・千種クラブ）・私の3名は、立ち上げから参加しています。

2005年7月9日、万博会場において「地球平和フォーラム 愛知」が開催され、「地球平和のための愛知宣言」が世界へと発信されます。緒方貞子・前国連難民高等弁務官ら平和活動に貢献している著名な5氏が参加の予定です。時を同じくして、同じ会場内に、地球の抱えるさまざまな問題について考え、発表する場を子供たちにも提供したいと、私たちは「地球子ども会議2005」を立ち上げました。

現在、万博会場「市民パビリオン」での発表を、中学生によるスピーチコンテスト・フォーラム・合唱コンサートに決定し7月9日日本番に向けて準備中で、「平和の歌」大合唱でフィナーレを迎える予定です。早川リージョン会長に、スピーチコた分野の多様な情報と経験 I T Cのノウハウを活かし



し7月9日日本番に向けて準備中で、「平和の歌」大合唱でフィナーレを迎える予定です。早川リージョン会長のジャッジをお願いいたしました。異なつや能力を備えた仲間たちと、私たちが学んだつつ、世代を超えて、互いに刺激しあいながら本番に備えて試行錯誤しています。万博会場にぜひお越しいただき、プロジェクトにエールを！

## 全国SAKURAライオンズクラブフォーラムを企画して

しらすぎクラブ 海老原あかね

I T Cで色々な事を学び、経験を積み、今期、姫路さくらライオンズクラブの会長として、I T Cのノウハウをフルに活用し、「ライオンズクラブ全国SAKURAフォーラム」の企画をしています。この「SAKURAフォーラム」は女性ライオンズクラブで、なおかつ“SAKURA”という名前を有するクラブの集まりです。毎年各クラブ持ち回りで、今年は姫路さくらライオンズクラブが企画担当です。

そこで、女性クラブならではの「子育て支援」を考え、今毎日のように報道されている悲惨な子供への虐待問題について、「講演・パネルディスカッション」を企画しました。

この催しを通して男女を問わず一人一人が、自分のできる事を見出し、子供達が大事に見守られ、安心して暮らせる地域社会に出来ればと考えています。大会テーマを「出発点」とし講演者である市田ひろみ様には、人として生まれた時から始まるコミュニケーションを「親と子の絆」というタイトルで講演して頂き、パネルディスカッションでは、文部科学省、厚生労働省、警察の方という多方面の専門家の方々と共に、I T C日本リージョン早川会長にゲストパネリストとしてご参加をお願いし、ディスカッションの幅を広げて頂きます。今まさに、I T Cという私の必需品を駆使して社会へ発信をしている所です。

## I T C 組織として「社会への発信」に思う

リージョン組織運営研究委員長 盛田 純子

### I T C 未来に明るい光を

私がリージョン会長をいたしました時の（1985～1986）基調演説で、「日本の I T C 誕生より 35 年を経た今、組織内の発展に留まらず社会と接点を持ち社会に還元する方向を考えてほしい」と申しましたことを覚えております。それ以後、老人病院を訪問しての朗読奉仕、地域婦人会の講座に講師として参加、地域のスピーチコンテストの手助け或いはディベート研究会へ参加するなど出来る範囲内で活動をしてくださっていることは承知しておりました。しかしまだ I T C の組織を前面に出してと云うことではなかったと思います。

以前と違って生活が多様化し I T C の会員数も伸び悩み始めている今、やはり I T C の組織として外部に向かっての P R が必要となり、会員の意識の中にも社会へ向かって活動したいという欲求が強くなっています。昨年度は、リージョン広報委員会の主導による短大に於ける授業の成功のご報告を受けました。そして今年度、中高生、小学生にいたるまで対象を広げて授業の一翼を担ったり、県や市の団体或いは他の組織に働きかけて活動されているなどの報告を拝見し感激いたしました。何時もリージョン大会の終わるたびに、これだけの大きな会を成功させていらっしゃるウーマンパワーを社会に活かさないなんて勿体ないと思っておりました。優秀な企画力、指導力、創造力を持ち、それでいて協調性や寛容さを備えておられる I T C 会員の姿に誇りを感じています。そのような方たちが今まで地道に築いてこられたことが、今や社会に向かって花開きつつあるのだと、皆様の努力の積み重ねに感謝の思いでいっぱいです。

とかく心のコミュニケーションの欠如が叫ばれている昨今、次代を背負う若い人たちがお互いに顔の見える温かな交流を持ってよい人間関係を築くための一つのきっかけに、私達 I T C の活動が役立つとすれば、こんな嬉しいことはありません。皆様方の幅広い「社会への発信」を知りまして、私は I T C の未来に明るい光を感じております。

### I T C 日本リージョン声明文

2004-2005

I T C 日本リージョンの使命は、I T C の目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供して、リーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

#### Mission Statement of Japan Region

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.

# I T C 教育の実践について考える

リージョン教育研究委員長 山崎 眞知

## 試行錯誤しながらの実践

「社会への発信」のテーマのもと、今期は各クラブ・カウンスルそしてリージョンが社会との関わりを実践されているという報告を数多く受取りました。その内容もダイベート、スピーチの教育、スピーチコンテストの主催など多岐にわたっております。このような報告を受取るたびに、メンバーのご努力がひしひしと感じられ、頭の下がる思いが致します。I T Cでの学習が単なる自己成長にとどまるだけでなく、どのようにしてそれを社会に活かしていくことができるかが論議されて久しくなります。勿論、今までにも学んだことを着々と活かしておられる方やクラブ・カウンスルもあることでしょう。しかしこれほどまで多くの実践がなされたことはなく「いっせいに花ひらいた」感が致します。メンバーの熱意が感じられ、I T Cの今後の在り方への示唆と受けとめております。

I T Cの学習がここに掲載されたものをヒントに、何をどの様にして社会と関わっていけば良いのか、何が社会で必要とされているのかを考え、広く地域に根ざした活動を行っていただきたいと思えます。しかし無理は禁物です。自然体で、わたしたちのできる範囲でやる。そしてこのような活動は私たち自身を確実に向上させてくれるものと思えます。

また一回限りに終わらずに、継続性を持つことも大切なことです。まだまだ途に着いたばかりで、試行錯誤しながらの実践だと思えますが、「質の向上」・「人材育成」に努め、自信を持って出かけられるように心がけたいものです。

I T Cとして社会参加を謳うのであれば、リージョンの責任は今後一層重くなると考えられます。I T Cを背負って出かけるということは、基礎にI T Cがあり、評価はI T Cに返って来るということだと思います。行事を企画される際には、できるだけ前もってリージョン教育研究委員会へお知らせ戴き、終了後活動記録等をお送りいただきたいと思えます。委員会では皆様からのご報告をもとに、今後のお役に立つように、ノウハウとしてまとめたいと考えております。きっとまだまだ隠れたところでの活躍があると思えます。是非とも委員の耳にも届きますように。

※ITC「社会への発信」の特集に 各カウンスル会長、各カウンスルニュースレター編集者のご協力をいただきましたことをご報告いたします。リージョン会報編集

### I T C 日本リージョン所属

(2004年11月27日現在)

クラブ数	89クラブ (カウンスル所属クラブ) (無所属クラブ1クラブ)
会員数	1703名 (重複会員含む)
重複会員数	51名

今期会員数が20%増加クラブ  
国際レベルで表彰されます。

(FTB 第14号 2 P 目標は20!より)

\* ポート神戸 12名から15名に増員!

\* アクア千葉 10名から13名に増員!

## 第23回日本リージョン年次大会ご案内

ITCウィルナ ウィルキンソン会長が公式訪問者として  
日本リージョン年次大会にご臨席されます。

### ----- 大会準備委員長の挨拶 -----

大会テーマ 《空・水・土》

開催日：2005年6月14日(火) ・ 15日(水)

場 所：大津プリンスホテル



コーディネーター 三村 敦子 (左)  
コ・コーディネーター 多田 絵実 (右)

大会準備委員長 三 村 敦 子

第23回日本リージョン年次大会には、二つの初めてがあります。一つは大会初開催地・大津、もう一つは大会開催日程が二日間であることです。初めての開催地への皆様の期待は勿論のこと、簡素化された二日間の日程の中で満足と充実感を味わって頂けますように準備委員会は心をかため準備を進めております。

「包容されているような心地良さ」と「疲れた体の中に精気がよみがえってくる」と言われる独特の宇宙・琵琶湖のほとりで、大会テーマ「空・水・土」から発信される共生と再生への新たな一歩・・・その一助となる事が出来ますようにホストカウンスル全員で力を合わせて皆様のお越しをお待ち申し上げております。どうぞ、ご参加下さいませ。

## Invitation to the 23rd Japan Region Annual Conference

Conference Theme: "Air, Water and Earth"

Date: June 14, and 15, 2005

Place: Otsu Prince Hotel

Coordinator: Atsuko Mimura

There are two new things about the 23rd Japan Region Annual Conference. One is the site of the conference: Otsu, the other is the length of the conference: two days. To meet your expectations, the preparation committee is working hard. We hope all the members will feel contentment and fulfillment after this simplified conference.

Lake Biwa has a unique atmosphere, described as "Comfortable tolerance" or "Power of revitalization". Under the theme "Air, Water and Earth", we will take a new step forward to regeneration and living in harmony. We look forward to seeing many of you at the 23rd Japan Region Annual Conference in Otsu.

## 第23回日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 23rd Annual Conference Program Plan

大津プリンスホテル OTSU PRINCE HOTEL

6月14日(火) June 14th (Tue.)

9:00～10:15	登録受付	Registration
9:30～10:15	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:30～11:10	入場・開会式	Opening Ceremony
11:10～12:40	ビジネスセッション(選挙も含む)	Business&Election
12:40～13:30	昼 食	Lunch
13:30～15:10	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
15:10～15:30	選挙結果報告	Election Report
15:30～17:00	教育セッション5部門	Training Sessions (5Parts)
17:45～18:15	晩 餐 会	Banquet
	晩 餐 会 受付	Banquet Registration
18:15	晩 餐 会 開会	Opening
18:30～20:00	晩 餐	Banquet
20:00～20:30	インストールセッション	Installation
20:30～21:00	エンターテインメント	Entertainment
21:00	終 了	Adjournment

6月15日(水) June 15th (Wed.)

8:15～ 8:30	カウンスル運営研修会受付	Council Management Training Registration
8:30～ 9:30	カウンスル運営研修会	Council Management Training
9:30～10:45	T P P (トレーニングパワーパック)	TPP (Training Power Pack)
10:30～10:50	登 録 受 付	Registration
11:00～12:30	特別プログラム 龍村仁氏講演 「地球と共に生きるための智慧」	Special Program
12:30～13:30	昼 食	Lunch
13:30～15:30	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30～15:50	表 彰	Awards
15:50～16:15	報告・案内	Reports
16:15	閉 会	Adjournment
16:30～18:30	リージョン運営研修会	Region Management Training

\* TPPにはご希望あればCMT参加者以外の会員も歓迎です。(詳しくは3号ウェブサイト上にて。)

\* 時間・内容に変更が生じる場合があります。

\* 変更がある場合はウェブサイトにてお知らせいたします。



## 教育セッション リーダー紹介



### A 狂言 安東 伸元 (あんどう のぶもと)

能楽協会会員、大蔵流狂言方

大阪生まれ。羽衣学園大学客員教授、大阪芸術大学・島根大学などで各非常勤講師、NHK大阪文化センター講師。2001年、重要無形文化財「能楽」保持者総合指定を受け、準じて日本能楽会会員に選出・認定された。能楽の演劇的意味を細分化、その秘密と魅力を紹介した講演活動の企画制作が今日の能楽ブーム到来の呼び水の役割を果たした。1994年より「大和座狂言事務所」を主宰。



### B 講演 田井中 邦彦 (たいなか くにひこ)

(株)電通取締役

京都出身、大阪大学卒業後電通に入社。入社以来コマーシャル制作を一貫して手がけ、'94にはクリエイター・オブ・ザ・イヤー賞を受賞、その後もカンヌ、ロンドン、アメリカ各地にて作品受賞。

良く知られている作品には「金鳥」「朝日新聞」「ダスキン」「関西電気保安協会」「ニッセン」「三田工業」「松下電工」など。



### C ワークショップ Wilna Wilkinson (ウィルナ ウィルキンソン)

I T C 会長 I T C 公式訪問者

2004年4月に来日されたときの前向きな、しかも全てに耳を傾けようとする彼女の姿は記憶に新しいことと思います。FTBの記事からも、常にI T Cに専心し、前に進む努力を続ける姿が浮かびます。南アフリカに生まれ、英国在住という背景から備わった、異なる文化や言語に対する深い理解力を持ち、常に精力的に活動されるI T C会長です。



### D 評価 泉 和子 (阪神クラブ)

国際役員副会長 ディヴィジョンIV 日本リージョン第20代会長

準備、知識、向上心、思いやり、これらのものがバランスよく発揮されてはじめて「評価」が実りあるものとなります。国際役員として、リージョン議会法規役員としてご活躍の中、いつも周到な準備と、状況を踏まえた言葉を選びながら展開される評価にはI T Cの真髓が溢れています。



### E 実践 ～企画の立て方～ 稲次 美子 (ITC堺東クラブ)

I T Cでの教育・訓練を世間の、特に若い世代の人々に伝えたいという多くのメンバーの願いが、小さな一歩ですが、昨年実現しました。今期も、同じく奈良県、白鳳女子短期大学で12月に80分の授業を2回持ちました。また、10月には、カウンスル No.3が中心となって、中学生、高校生に55分間の、非常に刺激的、かつ有効な時間を提供いたしました。このような試みに多くの会員が参加され、I T C以外での感動を味わっていただきたいものです。

## 教育セッション一覧表

6月14日(火) 15:30~17:00

<b>A</b>  ワークショップ 狂言	「日々のライフスタイルに 活かせる狂言」  あん どう のぶ もと 安 東 伸 元 (大藏流狂言方 大和座狂言主宰)	日本伝統芸能「狂言」を間近に学び、人とのコミュニケーションに活かしてみませんか？学んでいく過程で得られる腹式呼吸による明確な発声は、いわゆる「よく通る声」になります。発音も明瞭に「滑舌(かつぜつ)」が鍛えられるという効果はITCのメンバーには特に役立つお勧めの講座です。物語に時代背景がある狂言に身を置くことで得られる日本古来の歴史の知識はあなたの財産となるでしょう。
<b>B</b>  講 演	「笑いのコミュニケーション」  た い なか く に ひ こ 田井中 邦 彦 (欄電通 取締役)	広告のコミュニケーションの中で、また、人と人のコミュニケーションにおいて、笑いの果たす役割は決して小さくはありません。例えば東京と関西の笑いが違うように地域や人によって違いもあります。国が違えばもっと変わるかということそうでもなく、国境を簡単に越えてしまうこともあります。実際のコミュニケーションを見ながら、実践に基づいた興味深いお話を聞かせて頂きます。
<b>C</b>  ワークショップ	「ワークショップ」  Wilna Wilkinson ITC公式訪問者 ITC会長 (通訳付)	世界で最も大きなリージョン、日本リージョンがもっと前向きに、もっとパワフルに活動していくためのヒントになるようなワークショップを準備いたしております。ご期待ください。
<b>D</b>  ワークショップ 評 価	「評価に自信を持って」  いずみ かず こ 泉 和 子 国際役員副会長 デヴィジョンIV (阪神クラブ)	「評価」について学ぶことは、より円熟した責任ある人になるのに役立ちます。また、評価を実践するエヴァリュエーターに選ばれたら、公平で客観的に意見を伝達することを学ぶ絶好のチャンスとなります。「ITCの評価」を上手に利用し、良いコミュニケーションが取れるよう具体的に学びましょう。
<b>E</b>  ワークショップ 実 践	「ITCの出前」 ～企画の立て方～  いな つぎ よし こ 稲 次 美 子 (堺東クラブ)	学校、諸団体から、コミュニケーションについて、また議事運営の方法やプログラムの企画の立て方など、教えて欲しいと頼まれたら、あなたは何をどのように展開していきますか。いざという時のためにそのノウハウを学びましょう。

\* 今期、教育セッションは21頁水色の「大会登録及び、教育セッション、観光、食事申込書」に第1、第2希望をアルファベットで記入して申込んで下さい。

\* 教育セッションに関する変更などの連絡はEメール係を通じてクラブ会長にお知らせいたします。

## Training Sessions

June 14th (Tue.) 15:30—17:00

<p><b>A</b>            <b>Workshop</b></p> <p><b>“Kyogen”, useful for your daily life</b></p> <p>Nobumoto Ando (Yamatoza)</p>	<p>Learn a Japanese traditional art “Kyogen”, a comic interlude, and put this experience into a practical use of communication with others. In the process of learning, abdominal breathing will give you clear vocalization, so called, a penetrating voice. This course is specially recommendable for ITC members. You will get the knowledge of Japanese old history through a story of “Kyogen” which reflects the time in its background.</p>
<p><b>B</b>            <b>Lecture</b></p> <p><b>Communication by laughter</b></p> <p>Kunihiko Tainaka (Chief Creative Officer Member of Board DENTSU INC.)</p>	<p>In communication by an advertisement, and/or human communication, laughter plays an important part. There are different laughter in different area as in Tokyo and Osaka and in different kind of people as well. However, sometimes laughter easily crosses a border of countries. You can watch a real commercial program and listen to an interesting lecture based on his experiences.</p>
<p><b>C</b>            <b>Workshop</b></p> <p><b>Wilna Wilkinson</b> ITC Official Visitor International President (with Interpreter)</p>	<p>You will get a hint for Japan Region, the biggest Region in the ITC, about how to perform more actively and energetically through the workshop. Please look forward it.</p>
<p><b>D</b>            <b>Workshop</b></p> <p><b>Evaluate with confident</b></p> <p>Kazuko Izumi ITC Vice President Div.IV (ITC Hanshin Club)</p>	<p>To learn the method of evaluation is useful for us to become a more matured and reliable person. If you are asked to act as an evaluator, you are given a golden opportunity to you to practice a fair and objective evaluation. Let’s study the “Evaluation of ITC” and make a practical use of it for your better communication.</p>
<p><b>E</b>            <b>Workshop</b></p> <p><b>Delivery of ITC Planning Ideas</b></p> <p>Yoshiko Inatugi (ITC Sakaihigashi Club)</p>	<p>If you are asked to teach about communication, a parliamentary procedure or how to plan a program by a school or some organization, how and what will you prepare? Let’s study the know-how for a time of necessity.</p>

## 第23回日本リージョン年次大会観光のご案内

### —— 観る湖都 知る古都 近江路へ ——

マザーレイク琵琶湖!! 大津にはさまざまな歴史遺産、観光スポットがあります。六月の琵琶湖と近江路をお楽しみください。大会期間中は観光デスクを設け、観光のサポートをいたします。県内各地のパンフレット、“なぎさプロムナード”(琵琶湖畔ブラブラ散歩マップ)等を用意、作成してご利用をお待ちしております。是非、デスクへお立ち寄りくださいませ。

#### 1. 琵琶湖ミシガン観光の2コースを準備いたしました。

ミシガン観光①②は登録用紙でお申し込みください。

##### ①ミシガンクルーズ 1時間コース

気軽にちょっと1時間 緑萌ゆる琵琶湖岸の風景をお楽しみください。

6月13日(月) 午後3:30~4:30

\*料 金:1,660円(食事なし 自由席)

\*集 合:プリンスホテル 午後3時 バス送迎有り

##### ②ミシガンショーボート ナイトクルーズ

外輪船ミシガンで琵琶湖の大パノラマを眺めながら、おいしいお料理、ニューオリンズ気分たっぷりの陽気なライブショーで豪華なひと時をお楽しみいただきます。

6月13日(月) 午後6:30~8:30

\*料 金:7,000円(食事込)

\*集 合:プリンスホテル 午後6時 バス送迎有り



#### 2. タクシー観光(6月13日(月) 午後1時から2時出発のお手伝いをさせていただきます)

タクシー観光は、選択コース、代表者氏名、電話番号、同乗者名を明記の上、下記、観光委員長までFAXでお申し込みください。

- |      |                |      |
|------|----------------|------|
| ①コース | 比叡山ドライブウェイ・延暦寺 | 約3時間 |
| ②コース | 三井寺・日吉大社・坂本方面  | 約3時間 |
| ③コース | 義仲寺・三井寺・石山寺    | 約2時間 |

中型5人乗り1台1時間当 4,200円  
小型4人乗り1台1時間当 3,700円

※ 拝観料・駐車料は別途必要です。

※ ①コースのみドライブウェイ料金往復 1,620円が別途必要です。

※ 交通事情などにより多少の時間及び料金に変動が出る場合があります。

以上、ご承知おきください。

比叡山  
延暦寺



三井寺



源氏物語の  
石山寺



初めての大会です。観光委員一同、心よりお待ちしております。

【連絡先】観光委員長 宮川 容子 TEL:077-524-4387 FAX:077-521-5133

## 第23回日本リージョン年次大会準備委員会名簿

2005年6月14日(火)・15日(水)

大会コーディネーター：三村 敦子(都)  
コ・コーディネーター：多田 絵実(都)

委 員 会	委員長(クラブ)	委 員 (クラブ)
大会会計	八田 周子(都)	家村 悦子(京都) 野間 佳子(都)
登 録	高島 睦代(鴨川)	谷淵 玲子(鴨川)
食 事	佐藤 和子(奈良)	皆藤 幸子(都) 三井 武子(奈良) 岩井 悦子(琵琶湖) 松村武紀子(鴨川) 木村久美子(枚方)
宿 泊	高尾邦仁子(サタデー)	中西代志重(サタデー)
キ ッ ト	城山 博子(平安)	中村 武子(京都) 藤井 千里(平安) 小嶋 友子(平安) 上原紀美子(平安) 石黒さつき(都) 片上 昭恵(都) 浅田 芳(琵琶湖) 竹端葉都美(琵琶湖) 西堀久美子(鴨川) 田中 誓子(枚方)
会場・備品	松本 敬子(北摂)	藤野 幸子(奈良) 加川ヒサノ(北摂) 仲谷 幸子(北摂) 大槻久美子(北摂) 吉川 南枝(北摂) 花房久仁子(鴨川)
デコレーション	中尾 光子(奈良)	井筒恵美子(都) 前田 祐子(奈良) 埜口かず子(奈良) 坂本たか子(奈良) 室 祥子(鴨川) 生島 誠子(枚方)
儀 典	大野三恵子(京都)	田中 里枝(京都) 常田 道子(京都) 端 美智子(都) 東海 和子(都) 藤井 典子(鴨川) *入場行進担当……井上 有子(京都) 山田千恵子(京都)
名札・リボン	宮崎 光子(琵琶湖)	金綱 蓉子(琵琶湖) 河野 路子(琵琶湖) 田中 美知(琵琶湖) 八幡 衣代(琵琶湖)
V I P 接 待	立石 峯子(京都)	中川 愛子(京都) 黒田 昌子(都) 福本 弘子(奈良) 藤井 次子(鴨川)
ホスピタリティー	西阪 宣枝(京都)	小谷 貞子(京都) 山名 泉(平安) 西原久美子(都) 山崎 恵子(サタデー) 中山 光代(鴨川) 吉岡 秀子(枚方) 松尾 裕(奈良若草)
インフォメーション	小原三恵子(奈良)	稲富奈津子(北摂) 中村 慶子(鴨川) 東口奈都子(奈良若草)
ベ ー ジ	高城 良子(北摂)	井上丹規子(京都) 井上由記子(京都) 川島 啓子(京都) 石田 恵子(平安) 長尾 悦子(都) 乙野 靖子(北摂) 高山 敦子(北摂) 竹田 清子(北摂) 田井中三千恵(鴨川) 小出たず子(枚方) 奥野 良子(枚方) 山川 慶子(枚方) *公式訪問者担当……高木 清子(京都)
写 真	西村 温子(平安)	大林 恭子(平安) 古閑 夏女(北摂) 川崎 佳世(奈良若草)
広 報	目片ミヨ子(琵琶湖)	藤原 いと(平安) 宮川 容子(琵琶湖)
観 光	宮川 容子(琵琶湖)	岩崎 祥子(琵琶湖) 目片ミヨ子(琵琶湖) 中山 洋子(琵琶湖) 西川 早苗(琵琶湖) 園 仁美(琵琶湖)
受 付	山科 昌子(平安)	福田麻由香(京都) 前川 栄子(京都) 林 達栄(平安) 岩井 敏子(平安) 金子 文子(都) 棚村喜美子(奈良) 中込 寿美(北摂) 吉田 知子(サタデー) 大南 純子(琵琶湖) 高田 繁子(琵琶湖) 諏訪 愛子(枚方) 木下 光代(金沢)
エンターテインメント	倉斗 秀子(平安)	本儀 協子(琵琶湖) 森本 榮子(奈良若草)

## 第23回日本リージョン年次大会申込要項

### ◎共通要項

1. 会員は
  - ①21頁の水色の大会登録、ホテル宿泊申込書に必要事項を記入して2005年3月31日（木）迄にクラブ会計に提出して下さい。
  - ②リージョン役員、リージョン常任委員会委員長、リージョン特別委員会委員長、リージョン元会長、各レベル会長、リージョン派遣員、派遣員代理の方は役職名を必ず記入して下さい。
  - ③キャンセルや追加等の変更は2005年5月15日（日）迄にクラブ会計に申し出て下さい。
  - ④重複会員はリージョン会費を納めているクラブから登録して下さい。
2. クラブ会計は
  - ①Eメール連絡係りを通じて「リージョン大会申込要項説明」が登録委員会から送信されますので、その要項に従い2005年3月31日（木）迄に申込書を登録委員会に送信して下さい。キャンセルや追加等の変更締切日は2005年5月15日（日）です。
  - ②登録申込金は必ず申込書提出後の5月20日（金）～25日（水）の間に送金して下さい。

### ◎教育セッション申込

- ①教育セッションは16～17頁の一覧表を参照し、第1、第2希望を21頁水色の「大会登録及び教育セッション、観光、食事申込書」にアルファベットを記入して申し込んで下さい。
- ②教育セッションは希望人数により、第2希望となることもありますのでご了承ください。

### ◎登録及び食事申込（クラブ会計への提出）

1. 晩餐会又は観光のみ出席の方も、登録費が必要ですがゲストは不要です。
2. 欠席の方（賜暇会員を含む）は、協力金をお願いします。
3. 申込書と共に合計金額を、クラブ会計へ提出して下さい。
4. 申込締切以降の変更は、クラブ会計にご連絡下さい。
5. 5月15日（日）以降の取り消しは返金致しません。

### ◎ホテル宿泊申込（クラブ会計への提出）

大津プリンスホテル 〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7  
 TEL (077) 521-1111 FAX (077) 521-5519  
 ホームページ [www.princehotels.co.jp/otsu](http://www.princehotels.co.jp/otsu)

部屋タイプ		料 金（1人分）	備 考
T 1	ツインルーム	15,000円（1人使用）	朝食・税サービス料込
T 2	ツインルーム	9,450円（2人使用）	
T 3	ツインルーム	7,350円（3人使用）	
W	ダブルルーム	15,000円（1人使用）	
S W	スイートダブル	28,000円（1人使用）	

1. ホテル名、宿泊費は上記の通りです。
  2. 2005年3月31日（木）に申込を終えた後、5月15日（日）迄の変更（キャンセル、追加等）はクラブ会計へ、それ以降の変更は宿泊委員長に連絡して下さい。
  3. キャンセル料は、9日前から前々日までは10%、前日20%、当日80%、不泊100%となります。
  4. お支払いは、各自チェックアウト時をお願いします。
  5. チェックインは午後2時、チェックアウトは午前11時です。
  6. 部屋タイプは上記掲載の左側のアルファベットをご記入下さい。
- ※ 今回、当ホテルにシングルはありません。ご希望にそえないことがあります。ご了承ください。

#### 宿泊委員長 高尾邦仁子

住 所：〒606-0954 京都市左京区松ヶ崎壱町田町6-2 グランシティオ北山通り206  
 TEL：075-721-9515 メール：gracy.ryu-kuni.3777@triton.ocn.ne.jp

**ITC日本リージョン後援  
びわこ外国人日本語スピーチ大会**

日 時：2005年2月13日（日）  
会 場：野洲市 野洲文化小劇場  
問い合わせ先：日本リージョン広報委員長  
松本喜久子【0745-55-5500】

**阪神クラブ40周年記念例会**

日 時：2005年3月4日（第1金）11:00～15:10  
会 場：神戸ポートピアホテル「大輪田の間」  
例 会：【午前】ビジネス・式典【午後】プログラム  
エンターテインメント：  
ピアノコンチェルト ♪ラプソディー イン ブルー♪  
会 費：10,000円  
連絡先：コーディネーター  
山下 陽子 【0797-73-6691】

会長 野田 絢子

**豊中クラブ20周年記念特別例会**

日 時：2005年4月20日（第3水）11:00～15:00  
会 場：千里阪急ホテル2F 「仙寿の間」  
例 会：【午前】ビジネス・式典【午後】プログラム  
講 演：講師 楽天社長 三木谷浩史氏  
エンターテインメント：  
中国琵琶 閻杰（えんき）氏  
会 費：8,000円  
連絡先：特別委員長  
中野 智美【06-6853-8623】

会長 榎本 町子

**ひょうご女性未来会議  
第7回例会 in 神戸**

日 時：2005年2月5日（土）  
会 場：ポートピアホテル「大輪田の間」  
プログラム：パネルディスカッション  
会 費：例会のみ 1,500円  
連絡先：代表幹事  
大島 麗子【078-752-2271】

**全国SAKURAフォーラム  
姫路SAKURAライオンズクラブ**

日 時：2005年2月13日（日）14:00  
会 場：姫路市民会館 大ホール  
プログラム：基調講演・市田ひろみ氏  
パネルディスカッション  
会 費：入場無料  
連絡先：海老原あかね【0792-95-5700】

**米子クラブ20周年記念式典**

日 時：2005年5月25日（水）11:30～15:30  
会 場：米子全日空ホテル  
例 会：【午前】式典・祝宴  
【午後】講演 講師 米原万理氏  
会 費：10,000円  
連絡先：実行委員長  
大原 温恵【0859-32-3966】

会長 坂口 総子

**徳山クラブ10周年記念式典**

日 時：2005年3月15日（火）11:30～15:00  
会 場：ホテルサンルート徳山  
例 会：【午前】式典【午後】プログラム  
京劇「天女散華」「王昭君」  
会 費：8,000円  
連絡先：第一副会長  
松下 法恵【0834-28-6263】

会長 星 志津子

**迎 春**

本年もご指導のほどお願い申し上げます

編集一同



## 会 員 変 更 届 (2004. 9. 24 ~ 11. 27)

☆カウンスルNo.順

\* 新入・再入会員

カウンスル No.	クラブ名	氏 名	〒 住 所	Tel・Fax E-mail Address
2	イースト神戸	大池美美子	572-0843 大阪府 寝屋川市太秦中町8-18	072-824-1244 oikefm@msh.biglobe.ne.jp
3	西 宮	深尾 英夫	663-8165 兵庫県 西宮市甲子園浦風町8-17-310	0798-49-2641
4	瀬戸内	南 久美子	729-0141 広島県 尾道市高須町甲2914	0848-46-0063 mminami@athena.ocn.ne.jp
4	瀬戸内	藤井 禮子	720-2124 広島県 深安郡神辺町川南2838	084-962-2232
4	岡 山	渡辺 妙子	703-8267 岡山県 岡山市山崎67-8	086-277-5850 taeko2004w@ybb.ne.jp
4	ひろしま	目 みずえ	738-0036 広島県 廿日市市四季が丘8-9-15	0829-39-6657 mizue-nw@ms3.megaegg.ne.jp
5	帝塚山	山下 明美	567-0886 大阪府 茨木市下中条町1-1-206	06-6281-9218 06-6281-9219
5	南大阪	中川 淑子	537-0023 大阪府 大阪市東成区玉津3-14-10	06-6972-7617
5	堺 東	山口 明子	590-0117 大阪府 堺市高倉台2-8-5	072-299-5530
6	サタデー	大塚真理子	607-8422 京都府 京都市山科区御陵封ジ山2-136	075-582-0321
7	とっとり砂丘	竹氏千遊里	680-0803 鳥取県 鳥取市田園町1-266	0857-26-6071
7	鳥 取	小谷 良子	680-0863 鳥取県 鳥取市大覚寺94-34	0857-21-1649
7	境	伊藤 純子	683-0805 鳥取県 鳥取県米子市西福原9-3-43	0859-32-9563
8	青 山	増岡美弥子	145-0072 東京都 大田区田園調布本町4-3	03-3722-1885 03-3722-4087
8	東京セトラル	竹内美美子	216-0006 神奈川県 川崎市宮前区宮前平3-11-2	044-853-6251 fumiko@g03.itscom.net

\* 住所変更・住所名変更

カウンスルNo.	クラブ名	氏 名	新	旧
5	徳 島	宮田 侯枝	770-8007 徳島県 徳島市新浜本町4丁目3-25-13	770-0807 徳島県 徳島市中前川町1-18-1
7	倉 吉	瀧本 京子	682-0706 鳥取県 東伯郡湯梨浜町藤津688	682-0706 鳥取県 東伯郡東郷町藤津688
7	倉 吉	尾崎 千鶴	682-0701 鳥取県 東伯郡湯梨浜町宇野1518	682-0701 鳥取県 東伯郡羽合町宇野1518

\* Tel・Fax 番号変更・新設

カウンスルNo.	クラブ名	氏 名	新	旧
3	しらすぎ	釜田 睦子	0792-66-2855 (Fax)	0792-66-3700 (Fax)
5	徳 島	岡田 勝子	088-625-1222 (Fax)	088-622-5202 (Fax)
6	枚 方	南 順子	072-846-3180 (Fax)	072-844-5144 (Fax)
7	鳥 取	谷口久美子	0857-24-3261 (Fax)	
7	倉 吉	西谷 睦子	0858-22-8502 (Fax)	0858-22-8508 (Fax)

\* E-mail Address 変更・新設

カウンスルNo.	クラブ名	氏名	新	旧
2	阪神	伊庭 文子	iba@agate.plala.or.jp	iba@pp.iij4u.or.jp
2	阪神	広瀬 忠子	granma-tadako@s2.dion.ne.jp	
3	淡路	山崎津多子	ytsuneji@iris.eonet.ne.jp	ytsuneji@oak.ocn.ne.jp
3	しらさぎ	後藤 孝子	tanchan-goto@yahoo.co.jp	tanchan-goto@jp-k.ne.jp
4	ひろしま	奥村久美子	kumiko2237@peach.ocn.ne.jp	ok2237@mbi.nifty.com
5	徳島	三谷 珂代	kayo@mgem.jp	kayo@mitani.or.jp
5	徳島	西川 陽子	hellogreentea108@mb.tcn.ne.jp	hello_green_tea@hotmail.com
5	徳島	田岡批呂子	twins.t@ezweb.ne.jp	kazu3@mb2.tcn.ne.jp
5	徳島	藤江久美子	sissy@mb2.tcn.ne.jp	f-emy@mwd.biglobe.ne.jp
5	徳島	近藤 恭子	削除	okayamap@alles.or.jp
5	徳島	宮田 侯枝	削除	pjhdp@ybb.ne.jp
6	平安	小嶋 友子	yykk14@yahoo.co.jp	
6	平安	大林 恭子	i-fuji@f8.dion.ne.jp	
7	米子マNDER	西村 頼枝	yorienishimura@ybb.ne.jp	cyf10276@nifty.ne.jp

\* 役員変更

カウンスルNo.	役職(変更日)	新役員氏名	旧役員氏名
3	カウンスル会計(9月27日)	田代 祥恵(尼崎)	森本 雅代(関西)
7	クラブ議会法規役員(8月1日)	加藤久美子(鳥取)	松下 常世(鳥取)

\* E-mail 係変更

カウンスルNo.	クラブ名(変更日)	新	旧
6	平安(11月2日)	小嶋 友子	倉斗 秀子

\* 退会会員

カウンスルNo.	クラブ名	氏名
1	東山	内田都糸子
1	飛騨高山	小川みち子
4	岡山	黒瀬真紗子
7	米子マNDER	松井美代子
8	東京セントラル	高田 薫

\* Roster 訂正

カウンスルNo.	クラブ名	氏名	正	誤
3	尼崎	安永 貴駒	hinomono38@theia.ocn.ne.jp	hinomono@theia.ocn.ne.jp
5	徳島	阿部 弘美	irodori@cd6.so-net.ne.jp	irodori@cd6so-net.ne.jp
6	枚方	山川 慶子	yy0012@aioros.ocn.ne.jp	yy0012@aioros.con.ne.jp
6	枚方	吉岡 秀子	yoshioka9@dream.ocn.ne.jp	yoahioka9@drem.ocn.ne.jp

ITC日本リージョン会計 井上 保子

訂正のおしらせ

- 会報第1号13頁記載の「ITC日本リージョン第22期資産報告書」のうち「その他の資産」の中に、一部数字の記載間違いがありましたので、ここに訂正いたします。

資料棚卸資産 23,307,970 (誤) → 2,307,970 (正)

日本リージョン第22期 会 計 桑原 弘子  
会計監査委員長 近本 節子

- 訂正とお詫び

会報第1号16頁上から4行目14日(日)誤を(火)正に、21頁14行目4月26日(木)誤を(火)正に、ここに訂正し、お詫びいたします。

リージョン編集

## 編集からのお願い

### ITC JAPAN REGION 第23期 第3号について

今期日本リージョンでは会報の発行について、4回発行の内1回をウェブサイト掲載にすることで予算編成されました。

会報内容を検討の結果、第3号をウェブサイトに掲載することにいたしました。冊子での発行と違い、受信される方にお手数とご負担をおかけすることになりますが、よろしくご協力をお願いいたします。

#### 【次号発行の方法】

- ① 日本リージョンホームページへ掲載する。
- ② クラブ会長またはeメール係へ「ホームページへ掲載お知らせ」の送信をする。
- ③ クラブ会長またはeメール係は会員へ「ホームページへ掲載お知らせ」を配信し、HPへのアクセスを奨励する。
- ④ クラブのIT化状況によりクラブ会員にコピーして配布などの対処をする。

初めての試みとなりますので、予測される不都合を避け、より良い方法を検討してまいります。よろしくご協力いただき、今後へのご意見をいただければ幸いです。

2005年1月5日 ITCリージョン第23期 編集者 中川 周子

## 次号予告

- ☆ 「第23回日本リージョン年次大会」の詳細案内・変更のお知らせ
- ☆ 「あなたがリージョン派遣員になったら」
- ☆ カウンسلNo.6とカウンシルNo.8にニュースレターを聞く



## 編集後記

社会への発信が満載の第2号となりました。皆様の発信力に力強いI T Cを感じました。そして読破力を大いに、満たしていただけることと信じています。

言語コミュニケーションの発信と受信の作業比率は、「話す」30%、「聴く」45%、「書く」9%、「読む」16%。「書く」と「読む」とで、たかが25%、されど25%です。書き手と読み手の合計25%の作業が終了して初めてもたらされる偉効を常に念頭に置き、編集作業を進めました。

全国1700数名の会員の皆様に会報を通して社会発信のパワーを再発信できますことを願っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集者：中川周子

スタッフ：平岡英子 堤其美子 片上昭恵

I T C日本リージョン会報 Vol.23/No.2

編集・発行：I T C日本リージョン

印刷：上野タイプ印刷(株)

